学校番号	３０１８

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	スペースデザイン	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

スペースデザインに関する基礎的な知識と技術を講義と実習を通して学ぶ。社会や身近な生活にある空間や建物を調べ、空間や建物と人、環境と造形物との調和などについて問題を発見・考察することで、デザインの考え方や企画・設計についての理解を深める。図面の表し方や模型の製作について学び、スチレンボードを使った建築模型の製作とプレゼンテーションを行う。

2　学習の到達目標

・自ら課題を発見し、社会や生活と人、スペースデザインとの関わり、建物の形状や構造・材質など、造形要素の働きと構造原理について理解を深め、デザインの可能性を探る姿勢を育てる。
・基礎・基本的な実技実習を行う中で、スペースデザインの考え方と手法を学び、意図に応じて独創的・創造的に表現する力を身につける。
・グループワークやプレゼンテーションを通して、自己の考えを広げ発信・提案する力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・スペースデザインにおける美的な造形性と実用的な機能性について考察し、意図に応じたデザインの企画設計を理解し実行している。 ・材料の特性や用具の使い方を理解し、基礎的・基本的な技術を身につけている。 ・デザインを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	・空間や建物と人、社会や生活と人との関わりを考察し、空間をデザインすることの目的や条件を検討しながら計画的に制作を進めている。 ・建築模型やプレゼンテーションの手法を創意工夫し、見る人や使う人の視点や観点からよりよい表現をめざしている。	・社会や生活とスペースデザインの関わりについて関心を持ち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、意欲的な態度を身につけている。 ・問題解決や制作の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	スペースデザインの概要	・授業ガイダンス ・スペースデザインの意味と目的 ・建物の空間を考える	a:スペースデザインの概要についての知識を身につけ、社会におけるデザインの意義と役割を理解している。 b:空間や建物と人との関わりを考察し、空間をデザインすることの目的や条件を検討しながら制作を進めている。 c:デザインについて関心を持ち意欲的に取り組んでいる。	ワークシート 成果物	観察 グループワーク ワークシート 成果物	観察 グループワーク ワークシート
	図面の表し方	・縮尺について ・製図の基礎 ・平面図の読み取りと作図	a:縮尺について理解し、製図の基礎的なルールに沿って図面を読み取り作図している。 b: 製図の手法を適切に表し、よりよい表現をめざしている。 c:図面について関心を持ち意欲的に取り組んでいる。	成果物 課題作品	観察 成果物 課題作品	観察
2学期	制作課題①	・模型素材の加工技術 ・検討用模型の制作 ・アイデア展開と作図 ・制作課題 ・発表	a:素材の加工技術と模型制作や図面に関する知識を身につけ、意図に応じた企画設計や発表を理解し実行している。 b:素材の加工技術と検討用模型の制作を適切に進め、よりよい表現をめざしている。 c:制作や発表について意欲的に取り組み、制作の過程を振り返って問題を解決し、評価・改善したりしようとしている。	成果物 課題作品 発表	観察 ワークシート 成果物 課題作品 発表	観察 ワークシート 発表
	制作課題②	・テーマに沿ったスペースデザインの企画と課題 ・フィールドワーク ・アイデア展開 ・図面の作図 ・建築模型の制作	a:空間や建物と人、社会や生活と人との関わりを考察し、テーマに沿った企画設計を理解し計画的に制作を進めている。 b:スペースデザインの企画・設計を適切に進め、使う人の視点や観点からよりよい表現をめざしている。 c:テーマ課題について意欲的に取り組み、制作の過程を振り返って問題を解決し、評価・改善したりしようとしている。	ワークシート 成果物 課題作品	観察 グループワーク ワークシート 成果物 課題作品	観察 グループワーク ワークシート
3学期	プレゼンテーション	・プレゼン資料の制作 ・プレゼンテーション	a:プレゼンテーションに関する知識を身につけ、資料制作の過程を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b:プレゼンテーションの手法を創意工夫し、見る人の視点や観点からよりよい表現をめざしている。 c:プレゼンテーションについて意欲的に取り組み、評価・改善したりしようとしている。	成果物 課題作品 発表	観察 ワークシート 成果物 課題作品 発表	観察 ワークシート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度